

2011.6.5－2011.11.9 計 20 講座



平成18年度から開設した「子どものための子ども専用電話 子どもほっとラインもしもしにゃんこ」も丸5年がたちました。年間1,500本以上の電話のアクセスがあります。そんな子どもたちのキモチに耳を傾ける中で、私たちはコミュニケーションや人との関わりの力が落ちている現状を改めて感じ、自分たちでできる手立てのひとつとして、楽しく人とのかかわりを学ぶ講座を始めました。

今年度は、島根県共同募金会の助成を得て「乳幼児と親（保護者）や支援をしている人たち向け

の講座」を企画し、6月と11月にわけ計20講座開催しました。主に子どもが0歳児～3歳児を対象とした講座と、4歳・5歳児を対象とした講座の2つで行い、参加総数は、子どもたち・保護者さん・地域支援者さん、そしてスタッフ、みんな合わせると1,000人にもなりました。

開催にあたっては、社会福祉協議会・公民館・コミュニティセンター・市民団体・教育委員会・幼稚園・保育所・子育て支援センター・男女共同参画センターなどと協働で実施し、講座の周知、子どもや保護者さんへのよびかけ、地域で支援している方への参加依頼、当日のバックアップ等していただきました。

講座のようすをご紹介します。

★「千千んぷい おおきくなーれ! くもくももっくもく」0歳児～3歳児と保護者対象

講師 NPO法人 あそび環境Museumアフタフバーバン 千葉知江子さん 平川恭子さん

6月5日 日 出雲市子育て支援センター
6日 月 川本町邑悠会館マルチホール
8日 水 大田市温泉津町温泉津保育所
9日 木 益田市子育て支援センター



★「千千んぷい おおきくなーれ! しゅわしゅわオレンジ」0歳児～未就学児と保護者対象

講師 NPO法人 あそび環境Museumアフタフバーバン 清水洋幸さん 北崎圭太さん

6月25日 土 三刀屋健康福祉センター
26日 日 かもてらす



★「チチンプイ おおきくなーれ！ おいしいものたんけん隊！」 0歳児～未就学児と保護者対象

講師 NPO法人 あそび環境Museumアフタフバーバン平川恭子さん 北崎圭太さん

11月5日 土 大東健康福祉センター

7日 月 荒木コミュニティセンター



風船や新聞紙、そしてスーパーの袋にゴミ袋。日常まわりにあるなんでもないものがあそび道具になり、かわりの媒体となっていました。初めは、親も子も「なんだろう？ なにをするのかな？」と遠巻きに。そしてそんな緊張は歌やあそびをしていくうちに、笑顔と歓声にかわっていきます。

0歳児には0歳児のかかわりがあります。抱っこされていながら目であそびを追っている様子、おすわりのできる子は、新聞紙の「くも」に乗っかってみます。1歳児や2歳児にもそれぞれのかかわりがあります。たとえ、みんなの輪に入れなくて、ちゃんと見えています。それがその子なりのかかわりなんです。あら、いつのまにか新聞紙の雨のなかではしゃいでます。時間はかかってもそれはそれ。そんな講師のことはやまわりの空気に、参加しているおとうさんもおかあさんもおばあちゃんも、地域の人も、なんだか今日はゆったりと子どもと接しているように感じます。あまり話したこともない隣の人や初対面の人とも知らず知らず会話をしたりお互いの子どもに声をかけています。

子どもは生きる知恵をあそびから学びます。生きていく力をあそびを通してつけていきます。また、親やおじいちゃんおばあちゃん、地域の人などおとなかとのかかわりから、安心感や信頼感、ここに自分がこうしていいんだよという自己肯定感なども感じます。

参加して下さったおとなの皆さんが、そんなことを肌で感じていただけたならこの小さい子たちとの「あそび」の時間は短くてもとても有意義な時間だと感じました。

★千千フイ おおきくなーれ！ ちびっこ忍者、参上！ 4.5歳児と保護者・地域の人対象

- 6月24日 金 雲南市大東健康福祉センター
- 27日 月 出雲市立今市幼稚園 4歳児クラス 5歳児クラス 2回実施
- 28日 火 出雲市鳶巣コミュニティセンター（出雲市立鳶巣幼稚園）
- 29日 水 隠岐の島町共生学園第2保育所
- 30日 木 隠岐の島町日の丸保育所
- 7月1日 金 海士町けいしょう保育園

- 11月4日 金 出雲市立西野幼稚園
松江市立母衣幼稚園
- 6日 日 松江市古志原公民館
- 8日 火 出雲市立荒木幼稚園
- 9日 水 奥出雲町立阿井幼稚園（阿井保育所）





変身修行！石になれー！ お互いの鼓動と汗、一体感！

4. 5歳児と保護者、地域の人たち対象にした「ちびっこ忍者、参上！」は、子どもたちだけでなく、昔子どもだった人たちもみんなが五感をフルに使ってあそび合うワークショップ講座です。見る、聞く、感じる、想像する。五感はすべてコミュニケーションの原点。そして子どもの遊びの土台です。

用意してもらうものは、たった1枚の風呂敷。もうそこから子どもたちは「何をするんだろう？」「忍者はどこからくるんだろう？」「怖くないかなー」と想像します。おじいちゃんがおばあちゃんがタンスから出してくれた風呂敷、

おかあさんが布をきって用意してくれた風呂敷、大事そうに取り出します。これだって子どもたちにはもうりっぱなひとつしかないお宝なのです。順番に「忍者」に変身していくちょっぴりなんだか強くなった気分がして瞳がキラキラしたり、緊張もしています。

そして、みんなで体験する修行は、僕にも私にもできる楽しい修行でした。トマトコロコロ、えだまめもぐもぐ、りんごしゃきしゃき、講師忍者の名前に笑いころげ、「やま」「かわ」「ひかり」と合言葉を習い、忍者座りで集まる。もうそれだけでエライ忍者になったような気分。チームになったおとなたちとも同等な忍者のように接し、匂いさがしの修行は、子どもらしい発想の豊かさにあふれています。

最後の巻物お宝修行は、ワクワク感とドキドキ感、やりたいキモチと怖いキモチの葛藤の中での自分発揮の場にも見えます。やりとげた姿は心のキラキラ感であふれています。



匂いさがしの修行中！ここ！チョコのにおいがする！

「忍者ごっこ？なんだね それ」と、わけもわからず、ただ人手がたりないならといいよと来た保護者さん、地域の皆さん、そしてスタッフさんも少し不安なところが本音。風呂敷で変身を教わり、みんなで子どもたちより先に簡単なワークをただけでなんだかもう子ども心満点。中には子どもたちより瞳が輝いているお父さんもいます。そして子どもたちと一緒に修行をしているうちに、子どもと「なかま」として動いている自分に気づきます。石になる修行では、子どもたちをギュッと抱え込み、腕に食い込むほど子どもにつかまれ、それでも大声でヤッターッと修行が終わると、一緒に腕を突き上げ喜びが沸きます。影忍者がそばにきて、怖くてたまらない子どもをしっかりと抱え、ワカメに変身。一緒に本気になって修行するおとなの姿に子どものココロが開きます。かかわることは関わろうとするキモチの扉をひらけばよい、みんなが体感していきます。



ちょっとぶれていますがその必死に海から脱出のようすです。

どうしても巻物が箱に届けられない子どもがいました。みんなが進むのに怖くて怖くて動けません。でも本当はいきたい。やりとげたい。そのココロを感じた園長先生忍者は、カメに変身し、背中にその子をおぶって、誰ももういなくなった海の中（遊戯室）を進みます。シーンとして少し暗くて怖さは絶頂です。片手でその子をしっかりと大丈夫の相図がわりにおさえながらソロリと進み、見事箱にいれることができたの

ですが、そこで影忍者にみつかります。「なんだカメか」という影忍者に、変身したままおんぶして、とても遠くを感じたと思う遊戯室出口に向かいます。〇〇ちゃん、やったねー、出口で心配そうに待っていたおとなや友だちから口ぐちに褒められ、〇〇ちゃんは、はちきれそうな笑顔になりました。園長先生忍者も笑顔満点でした。

ただの忍者ごっこ、されどこんな楽しさと想像力にあふれたことは初めてです。どこの会場からもいっていただきました。そして、なんとこれ一回でどこも終わらなかったのです。園中の匂いさがしをしましたよ、あくる日からは朝も風呂敷かぶって登園、そのまま忍者ごっこが何日も続いてます、年少さんにも忍者が波及し、年長さんがあそびを広げていますよ。また保育でも五感を使った修行をとり入れる、遠足で公園で匂いさがし修行をした、家庭でも巻物かくしをみんなでしたよとのこと。たくさんのその後を聞きました。

なによりおとなたちが、本当に大事な欠かせないものは「あそび」の中にいっぱいあるということに気づき、また自分の小さい頃を思い出し、子どもとのあそびの時間や触れ合いの時間、そんなかけがえのない時間に少しでも気づいてもらえたことがなによりでした。



「ニン！ニン！」怖い時は「忍」といって胸を何回でも叩こう！あれから合言葉はこれです。大きくなって困難にぶちあたっても「ニン！ニン！」キミの周りには応援者がいっぱいだよというダイジョウブの合言葉。力は己の中にあり！ なにより大きな宝を届けられたかなと思うワークショップでした。

怖いな～でもニン！ニン！ダイジョウブの合言葉！で胸を叩き、いざ修行へ。

★事業についての評価と課題

「かかわる力を高めたい」と4年前からこのことに取り組みだしたとき、真っ先に思ったのは、楽しくそれをしたい、ということでした。

人生の生きるすべは砂場で学んだ、という子どものあそびには、コミュニケーションの力だけでなく大切なものがすべて含まれている。今を生きる子どもたちに「イキイキとしたあそびの時間＝子どもの時間」を持ってもらいたい、昔子どもだった人たちもその頃のキモチを思い出し、大切なものを一緒に思いだし、子育てに生かしてほしい。ただ子どもにもっと向き合ってほしい。そんな思いで始めた今回の事業でした。

<よかった点>

・予定通り 20 講座開催でき、参加者・協力者をいれて 1,000 人近い人たちがこの事業に関わり、たくさんの方に思いを伝えることができた。

・おとなの参加は 20 代から 90 代と大変幅広かった。

・特に「あそび」には子どもの育ちに欠かせないたくさんの大切なものがあるということに参加したおとなの皆さんと共有できた。

・一緒に事業をしていただいた皆さん、参加した保護者さんや地域の人たちと、たくさん子育てや今の現状について話す機会が持てた。

・「もしもしにゃんこ」事業などについて話せ、ほっと・すぺーす 21 への理解が広がった。・取り組みが一過性にならず、

その後のひろがりが多々あった。地域への広がりとして次の子どもたちへとつなぐことができる事業となった。



・協働で開催してもらえた会場が多く、周知や当日の運営が大変スムーズにできた。県内にさらに思いを同じにする賛同者や支援者の顔がみえたことは今後の事業の大きな力である。

<課題>

・早いうちから事業を決めていたがなかなか日時と会場が決定できなかった。4月以降にならないと事業の話ができないとのことが多かった。また日にちが重なっての希望があり調整に苦慮した。

・こまめに打ち合わせをし、直接出向き、担当さんと直に話ができるところとは、思いも共有でき、当日の流れもよかったように感じた。反面、事前打ち合わせが足りなかったところとは、講座で大切にしたいものがいまひとつ共有ではなかったように感じ、事前の打ち合わせの大切さを痛感した。

・平日動けるスタッフが少ない、またスタッフが動くとならば経費がその分かさむ現状は弱小NPOには大きな課題である。

～おわりに～

力は己のなかにもあり、面倒くさいことにたくさんのかかわりがある、命は多様であり、育むには時間がたくさんかかる。ひとりの子どもを育てるには村中のひとたちの、100人のおとなが必要です。かかわりの中にしか子どもの権利は生まれない。

おじいちゃんは、いろいろな困ったことに出逢う度にぼくの手をにぎりこつつぶやいた、「だいじょうぶ だいじょうぶ」と etc・・・etc・・・

これはここ数年出逢った方、出逢った本、そして出逢った話から学んだ言葉の数々です。みんなおんなじことを次の世代を大事に育てるために伝えようとしている言葉です。

今年私たちは大事なものがいったいなんなのかということも考えさせられる一年でした。日本という国は大切なものを尊ぶたくさんの命と引き換えに教えてもらったそんな一年でもあったように思います。

この講座をやったからとコミュニケーションの力が即座につくものでもなく、たくさんのおとなや友だちのかかわりの積み重ね、自然や地域の普段の暮らし、出逢う事柄、それぞれ「地域のひと・もの・こと」すべてに子どもたちは、自分の命の力を、かかわる力をつけていくのではないかと思います。

子どもの命の輝きのためにみんなで力を少しずつだせたら・・・それがほっと・すぱーす 21 の願いでもあります。

Thanks You

☆皆さまのおかげでこんなステキな事業ができました！ありがとうございました！

また一緒にやりましょう！

・松江市

母衣幼稚園

古志原公民館

・出雲市

出雲市男女共同参画センター

今市幼稚園

鳶巣コミュニティセンター 鳶巣幼稚園

荒木コミュニティセンター

荒木幼稚園

西野幼稚園





・雲南市

雲南市社会福祉協議会

雲南市社会福祉協議会三刀屋支部・大東支部

加茂子育て支援センター

・大田市

温泉津公民館

温泉津保育所

・益田市

とどろあグループ

益田市子育て支援センター

・川本町

川本町教育委員会

・奥出雲町

阿井公民館

阿井幼稚園

阿井保育所

・隠岐の島町

隠岐の島町教育委員会

共生第2保育所

日の丸保育所

中村保育所

・海士町

海士町教育委員会

けいしょう保育園



NPO法人 あそび環境Museumアフタフバーバン

(以上 会場提供、協働先 敬称略)

島根県共同募金会

※チラシ配布お手伝い、テレビ報道・新聞記事掲載・有線放送など影からのたくさんのご支援者の皆さま
温かな励ましのメール、手紙を寄せてくださった皆さま、心より御礼を申し上げます。